

## 介護過程

問題 61 介護過程の目的に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者の自立を支援する。
- 2 画一的に介護を実践する。
- 3 介護福祉職の尊厳を保持する。
- 4 家族介護者の自己実現を図る。
- 5 経験則に基づいて介護を実践する。

問題 62 利用者の情報収集における留意点として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 生活歴は、介護福祉職の主観的判断を優先する。
- 2 生活機能は、他職種からの情報も活用する。
- 3 発言内容は、介護福祉職の解釈を加える。
- 4 経済状況は、近隣住民の情報から推測する。
- 5 心身機能は、利用者への聞き取りによって判断する。

問題 63 生活課題の優先順位を決定する上で、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者が要望する頻度の多いものから決定する。
- 2 介護福祉職が評価しやすいものから決定する。
- 3 家族の負担が大きく軽減するものから決定する。
- 4 緊急性が高いものから決定する。
- 5 課題に取り組む準備期間が短いものから決定する。

問題 64 介護計画を実施するときの留意点として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護計画の遂行自体を目的にする。
- 2 実施内容は個々の介護福祉職に任せる。
- 3 介護福祉職の満足度を基に継続を判断する。
- 4 介護計画の変更内容の説明は省略する。
- 5 利用者の反応や変化を観察する。

問題 65 Gさん(79歳, 男性)は認知症対応型共同生活介護(グループホーム)に入居している。短期目標を「なじみの店で買物ができる(2か月)」として、月3回の買物を計画し実施した。初回は順調であったが、2回目にレジで後ろに並ぶ人から、「遅い、早くして」と言われて、H介護福祉職が支払った。GさんはH介護福祉職に、「ほしい物を選んでも、自分で支払わないと買った気にならん」と言い、その後、楽しみにしていた買物に行かなくなった。

ICF(International Classification of Functioning, Disability and Health: 国際生活機能分類)の視点に基づいて介護計画の内容を見直すにあたり、最も配慮すべき構成要素を1つ選びなさい。

- 1 身体構造
- 2 個人因子
- 3 心身機能
- 4 環境因子
- 5 活動

次の事例を読んで、問題 66、問題 67 について答えなさい。

〔事 例〕

Jさん(71歳, 男性)は20歳から造園業を営んでいた。2か月前に脚立から転落し、みぎだいたいこつけいおこっせつ右大腿骨頸部骨折(femoral neck fracture)で入院した。骨折部位は順調に回復し、つえほこう下肢機能訓練により杖歩行も可能であると診断されている。しかし、訓練への参加は消極的であり、入院中は車いすで過ごしていた。退院後は自宅で過ごしたいという希望から、下肢筋力に対する機能訓練で5日前に介護老人保健施設に入所した。

入所後のJさんは、日中のほとんどをベッド上でテレビを見て過ごしている。はいせつ排泄に関する移乗を依頼する以外に職員に話しかけることはなく、食事をしていても他者との会話はみられない。Jさんの表情が穏やかなときに歩行訓練に参加を促すが、「ああ、うん…」と言うだけで訓練に参加していない。

面会に来た妻によると、Jさんは、「施設で訓練しても歩けるようになるはずはない」と話していたということだった。また、妻は、「仕事大好きで、仕事ができないことに相当落ち込んでいるようだ」と話した。

問題 66 Jさんに対する長期目標の方向性として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 病院で機能訓練をすること
- 2 施設での生活に慣れること
- 3 造園業に再び携わること
- 4 話し相手を見つけること
- 5 新しい趣味を見つけること

問題 67 在宅復帰を目指すJさんに対する短期目標を、「外出することができる(1週間)」とした。

短期目標に基づく支援内容として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 車いすで20～30分過ごしてもらう。
- 2 歩行器の使用を促す。
- 3 下肢を1日1回外転する。
- 4 トイレへの移乗訓練を行う。
- 5 骨折部位の回復を確認する。

問題 68 Kさん(82歳, 女性)は, 身寄りがなく自宅で一人暮らしをしている。週1回利用している通所介護(デイサービス)で送迎を担当しているL介護福祉職は, Kさんから, 「この間, いつもより膝の痛みが強くなって玄関で立てなくなった。ちょうど民生委員さんが来てくれて, 一緒に受診して痛みは治まったの。医師から膝は痛むことがあるが生活に支障はないと言われたけど, いつまでこの家にいられるかしら」と打ち明けられた。その日の夕方, 自宅へ送った時にKさんは, 「施設の生活はにぎやかで, さぞ楽しいでしょうね」と話して, 涙ぐんだ。発言を受けて, その場で本人の同意を取り, 翌日, 事業所内のカンファレンス(conference)が行われた。

L介護福祉職が話す内容として, 最も優先すべきものを1つ選びなさい。

- 1 膝の痛みがなくなる理由
- 2 身寄りがないこと
- 3 施設に入所するタイミング
- 4 玄関で活用できる福祉用具
- 5 在宅生活の継続への不安